

平成30年3月期 第2四半期 決算の概要

平成29年11月16日
(株)今仙電機製作所
東証1・名証1
証券コード 7266

www.imasen.co.jp

I . 第2四半期の状況（前年同期比較）

百万円	前年同期実績 (H28年9月期)	当期実績 (H29年9月期)	増減額		増減率
売上高	54,571	56,401	1,830		3.4%
営業利益	648	1,121	473		72.9%
経常利益	▲ 435	1,076	1,511		-
当期純利益	▲ 872	765	1,637		-
1株当たり純利益	▲ 42.55円	37.22円	79.77		-

POINT

国内、アジアでの生産増加により、増収増益となりました

ご参考

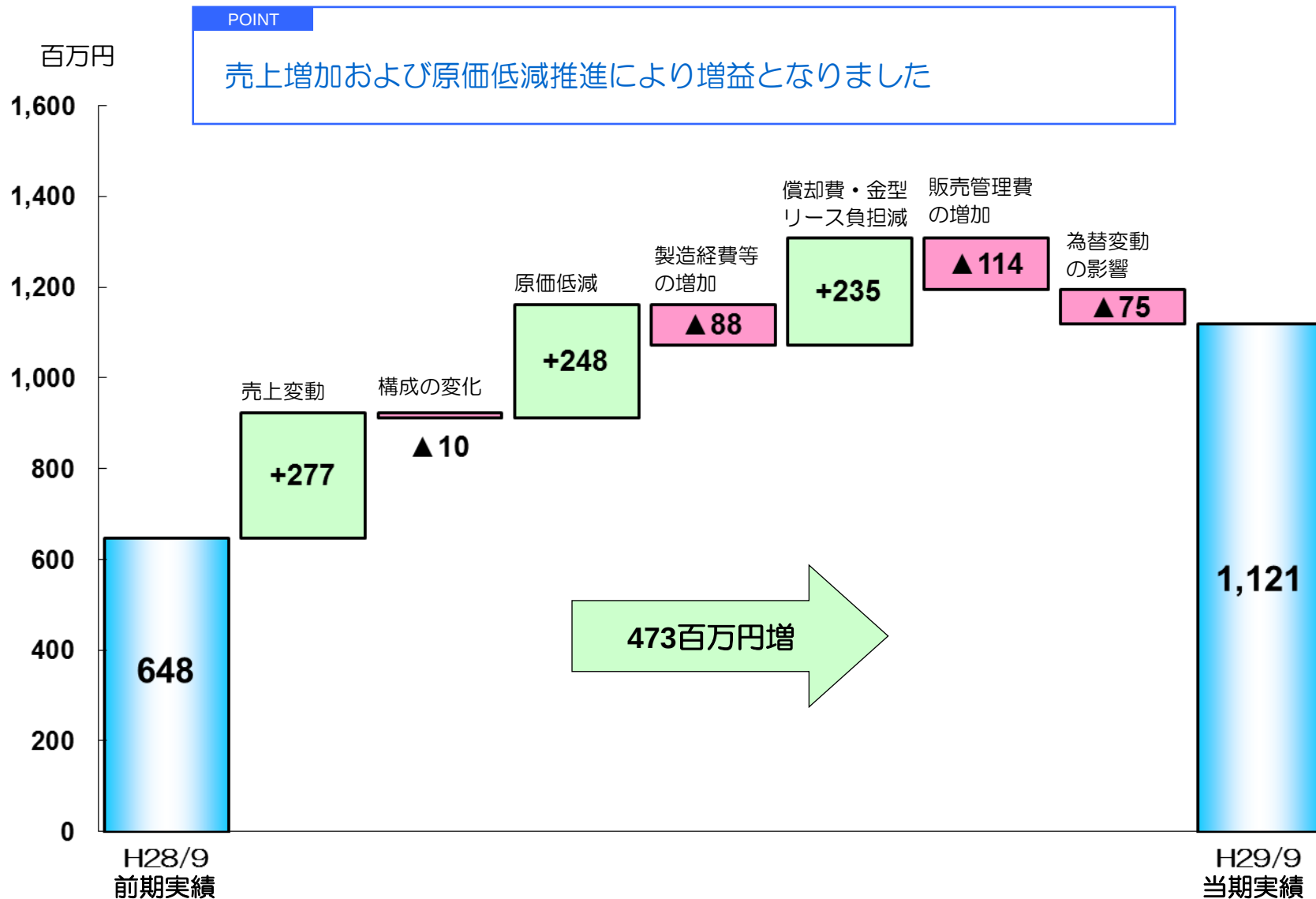
USD	29/9期	112.34円	28/9期	111.70円	0.64円の円安
CNY	29/9期	16.39円	28/9期	17.05円	0.66円の円高
THB	29/9期	3.24円	28/9期	3.15円	0.09円の円安

百万円	前期実績 (H29年3月期)	当期実績 (H29年9月期)	増減額		増減率
			増減額	増減率	
総 資 産	82,033	83,189	1,156	1.4%	
純 資 産	46,335	47,565	1,230	2.7%	
自 己 資 本 比 率	56.0%	56.7%	-	-	
1 株 当 た り 純 資 産	2,239.53円	2,267.10円	27.57円	1.2%	

POINT

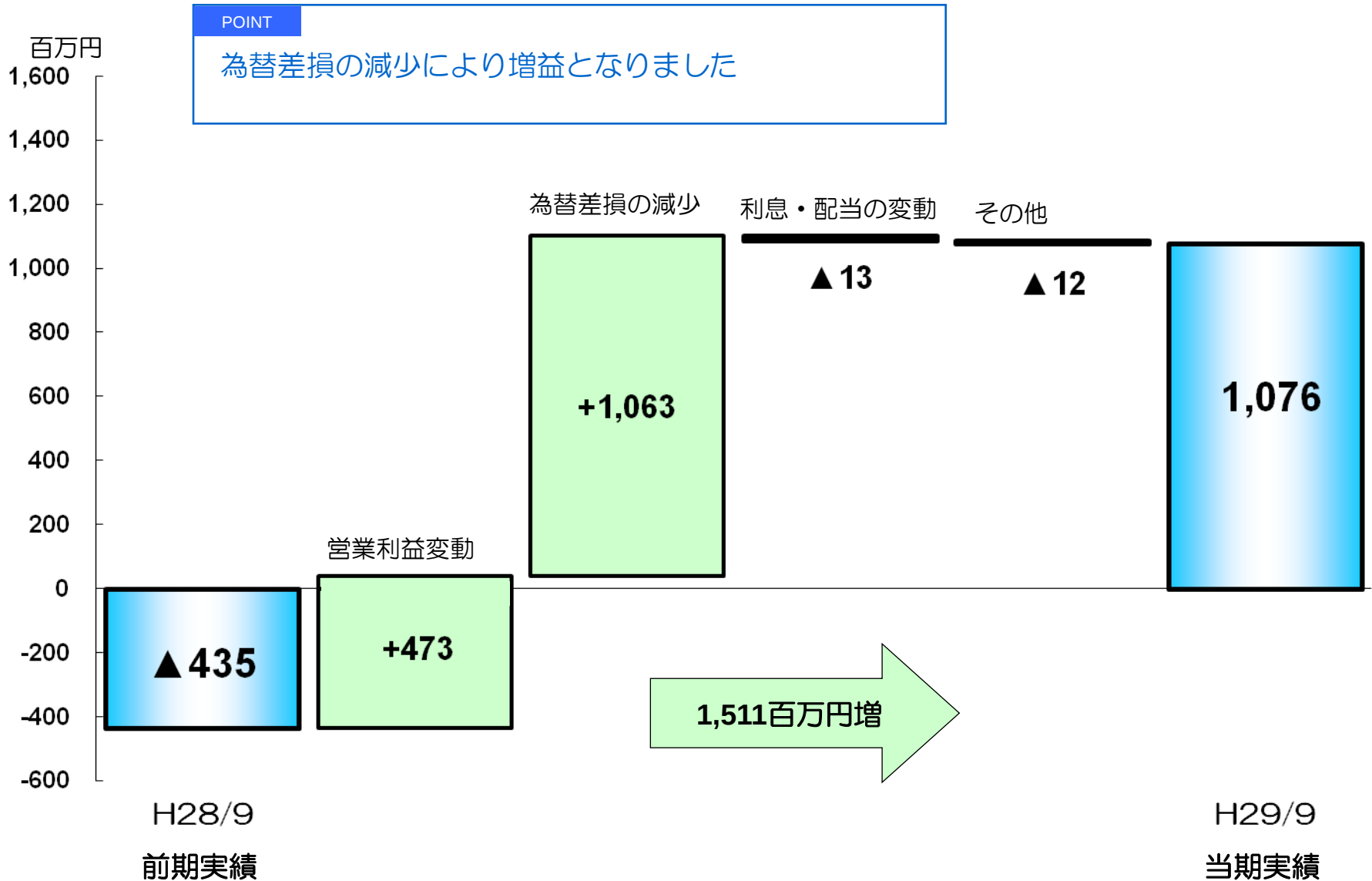
総資産は売掛債権の増加や現金及び預金の増加により、増加しております

2Q実績 前年同期比変動要因：営業利益



本資料の内容に関する一切の権利は(株)今仙電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

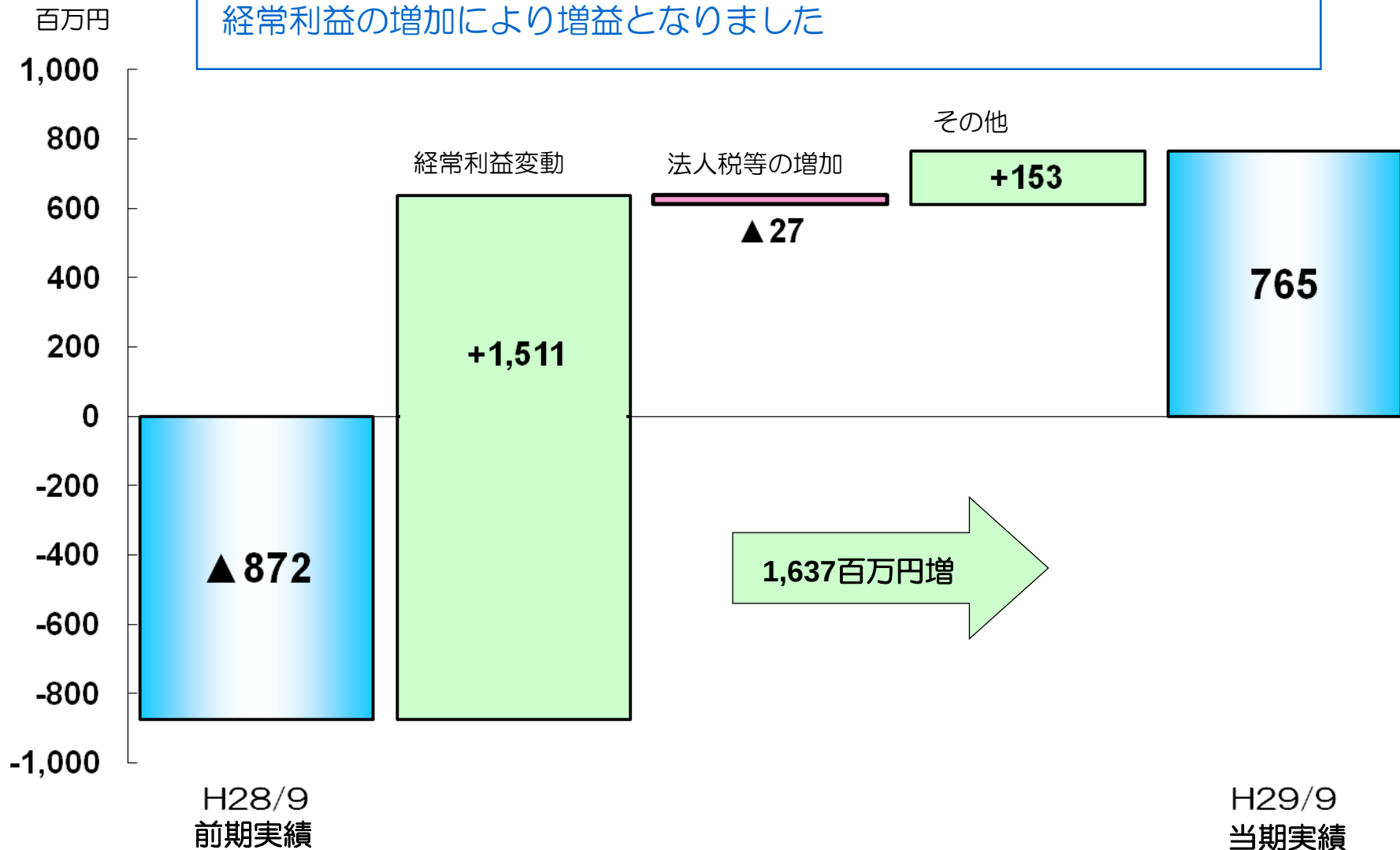
2Q実績 前年同期比変動要因：経常利益



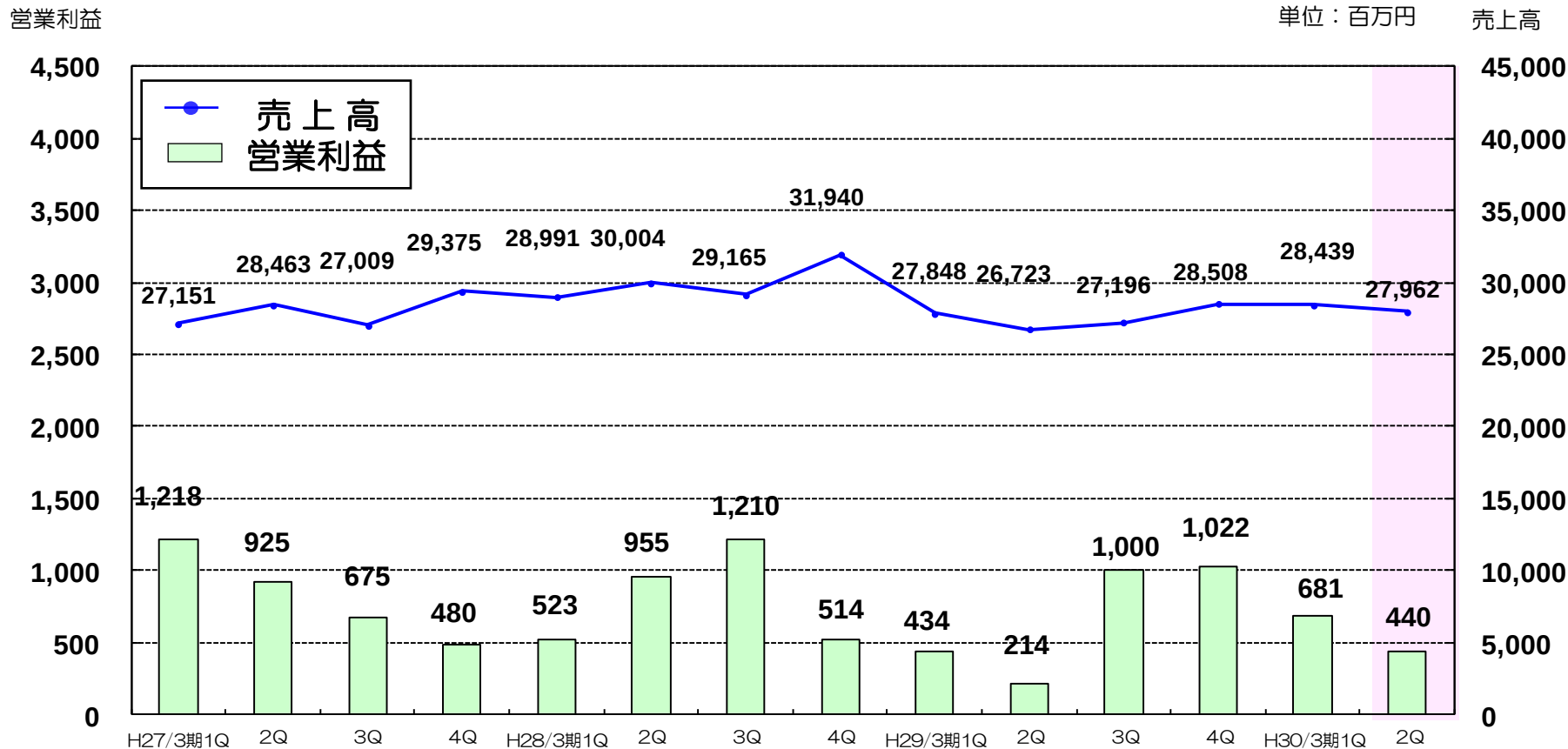
2Q実績 前年同期比変動要因：当期純利益

POINT

経常利益の増加により増益となりました



■連結売上高・営業利益の推移



POINT

今期の第1四半期と比べ、北米の減産により減収減益となりました

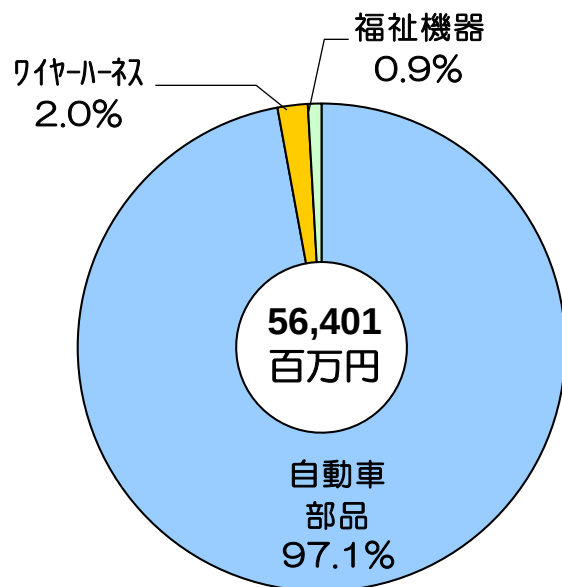
事業の種類別セグメント：自動車部品関連事業

百万円		自動車部品 関連事業	ワイヤーハル 関連事業	福祉機器 関連事業	連結
外部売上高	H29/9期	54,763	1,108	530	56,401
	H28/9期	52,747	1,301	522	54,571
	増減額	2,016	▲ 193	8	1,830
営業利益	H29/9期	1,277	▲ 159	▲ 3	1,121
	H28/9期	730	▲ 83	▲ 3	648
	増減額	547	▲ 76	0	473

POINT

主要事業である自動車部品関連事業において、国内、アジアでの生産増加などにより増収増益となりました

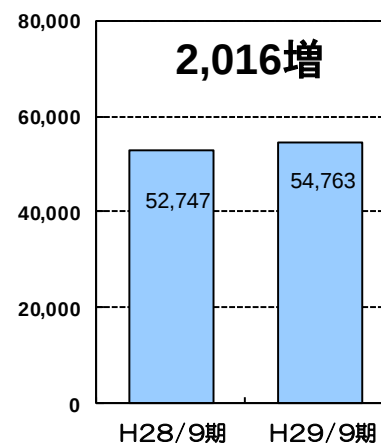
事業の種類別 売上高構成



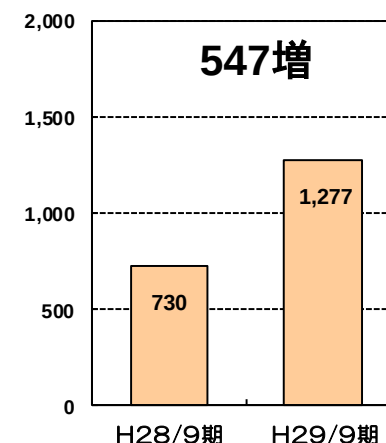
自動車部品関連事業

百万円

外部売上高



営業利益



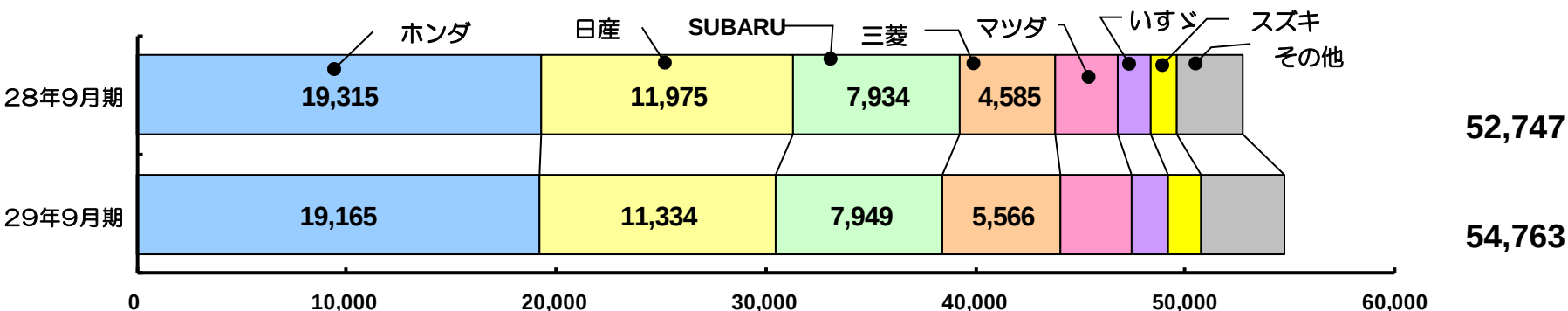
事業の種類別セグメント：自動車部品関連事業

得意先系列別 売上高構成

百万円	前期		当期		増 減	
		構成比		構成比	額	率
本田技研工業(株)	19,315	36.6%	19,165	35.0%	▲ 150	▲ 0.8%
日産自動車(株)	11,975	22.7%	11,334	20.7%	▲ 641	▲ 5.4%
(株)SUBARU	7,934	15.0%	7,949	14.5%	15	0.2%
三菱自動車工業(株)	4,585	8.7%	5,566	10.2%	981	21.4%
マツダ(株)	2,931	5.6%	3,422	6.2%	491	16.8%
いすゞ自動車(株)	1,617	3.1%	1,731	3.2%	114	7.1%
スズキ(株)	1,210	2.3%	1,572	2.9%	362	29.9%
ダイハツ工業(株)	339	0.6%	347	0.6%	8	2.4%
トヨタ自動車(株)	295	0.6%	299	0.5%	4	1.4%
日野自動車(株)	175	0.3%	173	0.3%	▲ 2	▲ 1.1%
ヤマハ発動機(株)	63	0.1%	49	0.1%	▲ 14	▲ 22.2%
その他	2,308	4.4%	3,156	5.8%	848	36.7%
計	52,747	100.0%	54,763	100.0%	2,016	3.8%

POINT

- ホンダ系列向け
 - ・北米における生産減少
- 日産系列向け
 - ・北米における生産減少
- 三菱系列向け
 - ・国内、アジアにおける生産増加
- マツダ系列向け
 - ・国内、北米における生産増加



事業の種類別セグメント：自動車部品関連事業

■機種別 売上高構成

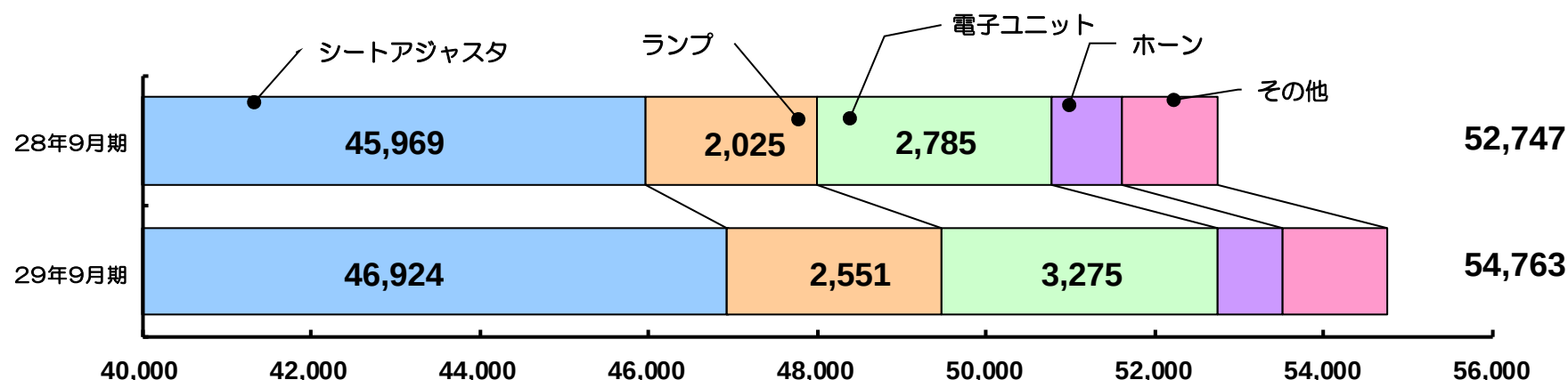
百万円	前期		当期		増 減	
		構成比		構成比	額	率
(1)機構部品 シートアジャスタ	45,969	87.2%	46,924	85.7%	955	2.1%
(2)電装部品	5,651	10.7%	6,592	12.1%	941	16.7%
ランプ	2,025	3.8%	2,551	4.7%	526	26.0%
電子ユニット	2,785	5.3%	3,275	6.0%	490	17.6%
ホーン	841	1.6%	766	1.4%	▲ 75	▲ 8.9%
(3)その他	1,127	2.1%	1,247	2.2%	120	10.6%
合 計	52,747	100.0%	54,763	100.0%	2,016	3.8%

POINT

■主力製品であるシートアジャスタは国内、アジアでの増産により増加しました

■ランプは国内での生産が増加しました

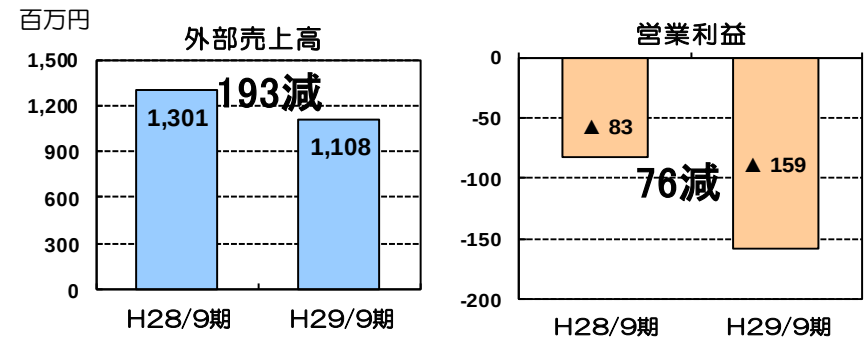
■電子ユニットは国内、北米、中国での生産が増加しました



■ワイヤーハーネス関連事業

POINT

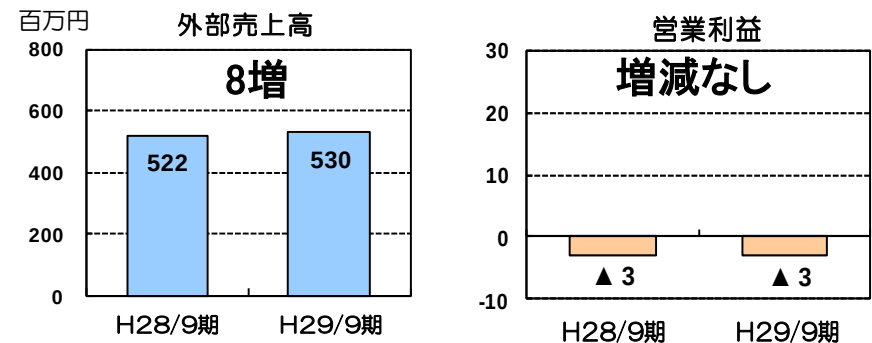
航空機・宇宙関連向けの受注減少により
減収減益となりました



■福祉機器関連事業

POINT

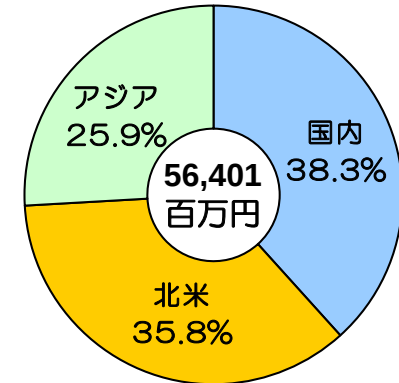
電動車いすの販売は減少したものの、
義足などの販売増加により売上・利益と
も前期並みとなりました



■所在地別売上高構成

百万円		国内	北米	アジア	連結
外部売上高	H29/9期	21,573	20,212	14,616	56,401
	H28/9期	20,529	21,820	12,221	54,571
	増減額	1,044	▲ 1,608	2,395	1,830
営業利益	H29/9期	173	▲ 383	1,322	1,121
	H28/9期	▲ 583	501	655	648
	増減額	756	▲ 884	667	473

所在地別 外部売上高

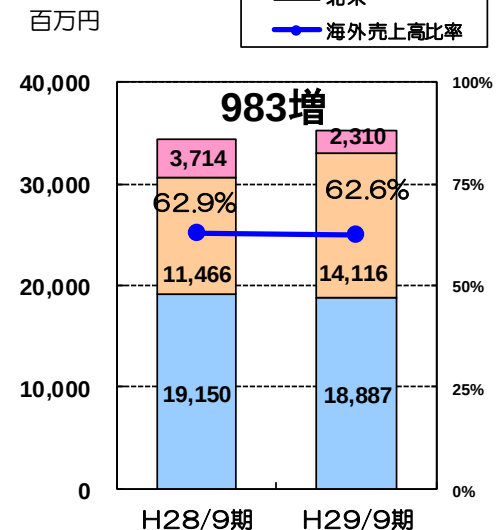


■海外売上高

百万円	国内	北米	アジア	その他	連結
H29/9期	21,086	18,887	14,116	2,310	56,401
H28/9期	20,240	19,150	11,466	3,714	54,571
増減額	846	▲ 263	2,650	▲ 1,404	1,830

※海外売上高とは顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しています

海外売上高



POINT

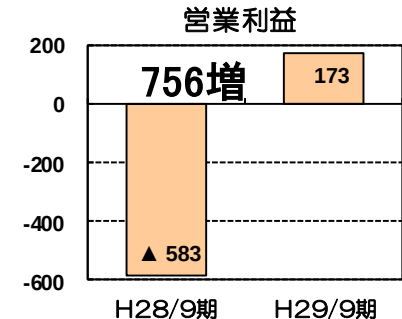
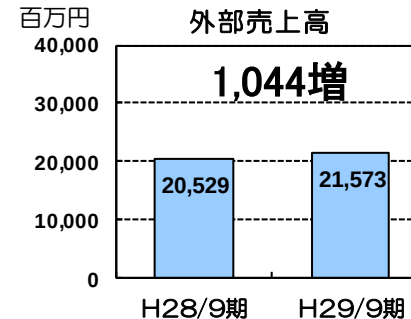
所在地別売上高は北米にて減収となりましたが、国内、アジアにおける生産増加から増収増益となりました

所在地別セグメント

国内

POINT

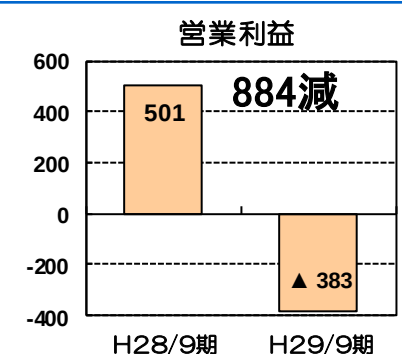
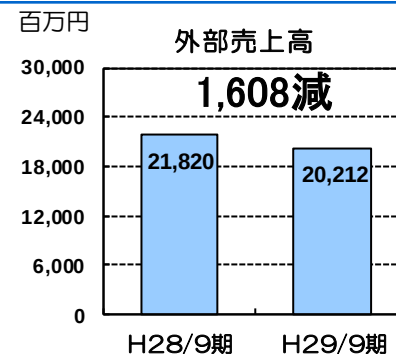
三菱系列向けの生産回復と生産増加により
増収増益となりました



北米

POINT

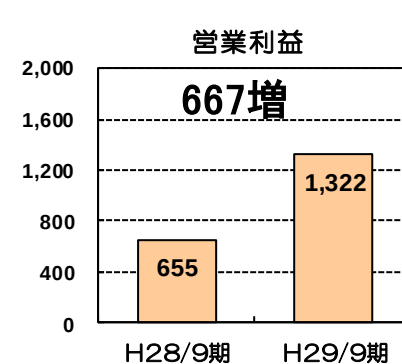
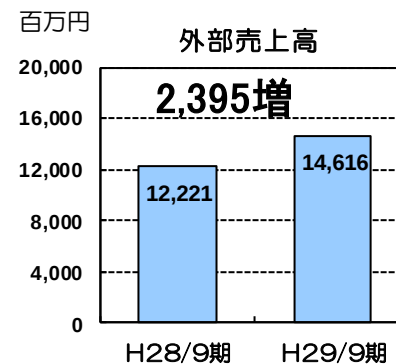
生産減少の影響を受け、減収減益となりました



アジア

POINT

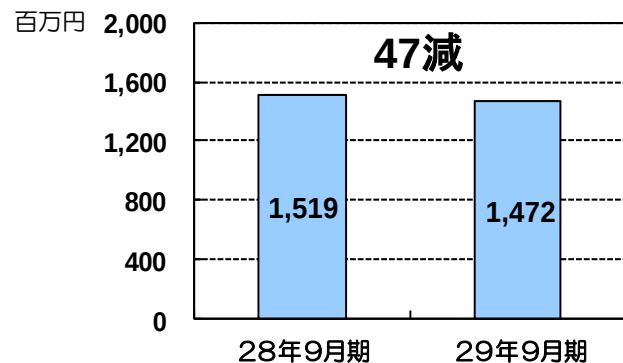
中国、タイにおける生産増加により
増収増益となりました



■設備投資

POINT

国内は新規立上り・増産対応による設備投資が増加しておりますが、全体では設備投資を抑制しております

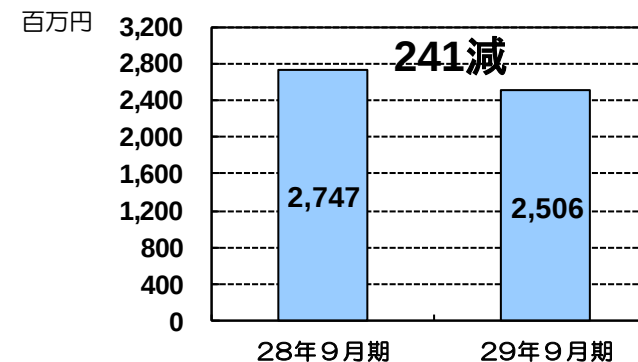


	28年9月期 (実績)	29年9月期 (実績)	前期比増減
日本	560	962	402
北米	346	145	▲ 201
メキシコ	161	49	▲ 112
中国	216	147	▲ 69
タイ	195	16	▲ 179
フィリピン	19	11	▲ 8
台湾	14	7	▲ 7
インド	1	131	130
インドネシア	3	0	▲ 3
合計	1,519	1,472	▲ 47

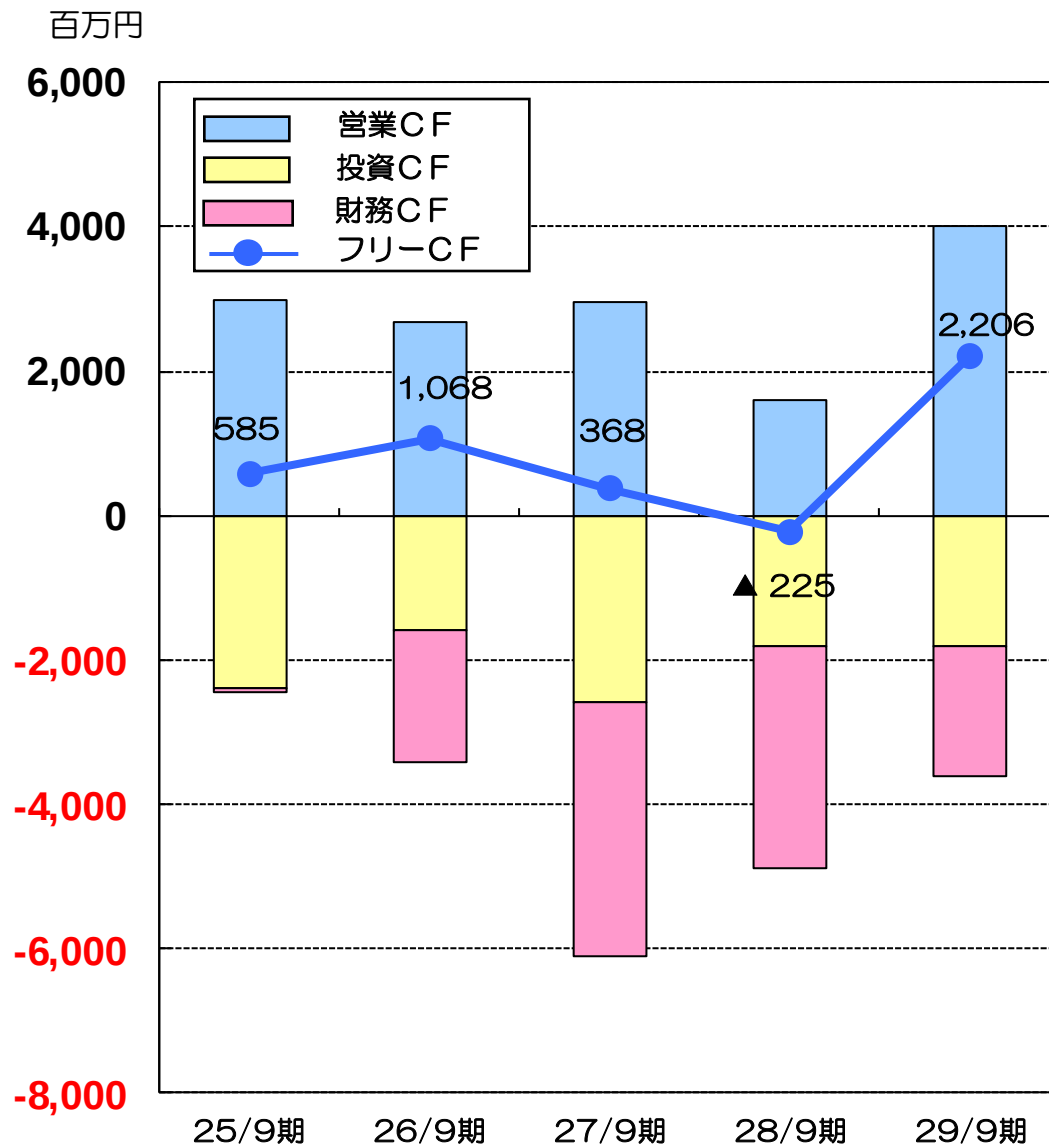
■減価償却費

POINT

投資抑制により減価償却費は減少しております



	28年9月期 (実績)	29年9月期 (実績)	前期比増減
日本	1,311	1,200	▲ 111
北米	740	694	▲ 46
メキシコ	51	62	11
中国	326	253	▲ 73
タイ	222	213	▲ 9
フィリピン	47	34	▲ 13
台湾	17	17	0
インド	25	23	▲ 2
インドネシア	5	5	0
合計	2,747	2,506	▲ 241



POINT

■ 営業CFは売掛債権が増加しました

■ 財務CFは借入金の返済により減少しました

■ フリーCFは2,206百万円となりました

Ⅱ. 平成30年3月期 業績見通し概要

※5/12付予想より変更しておりません

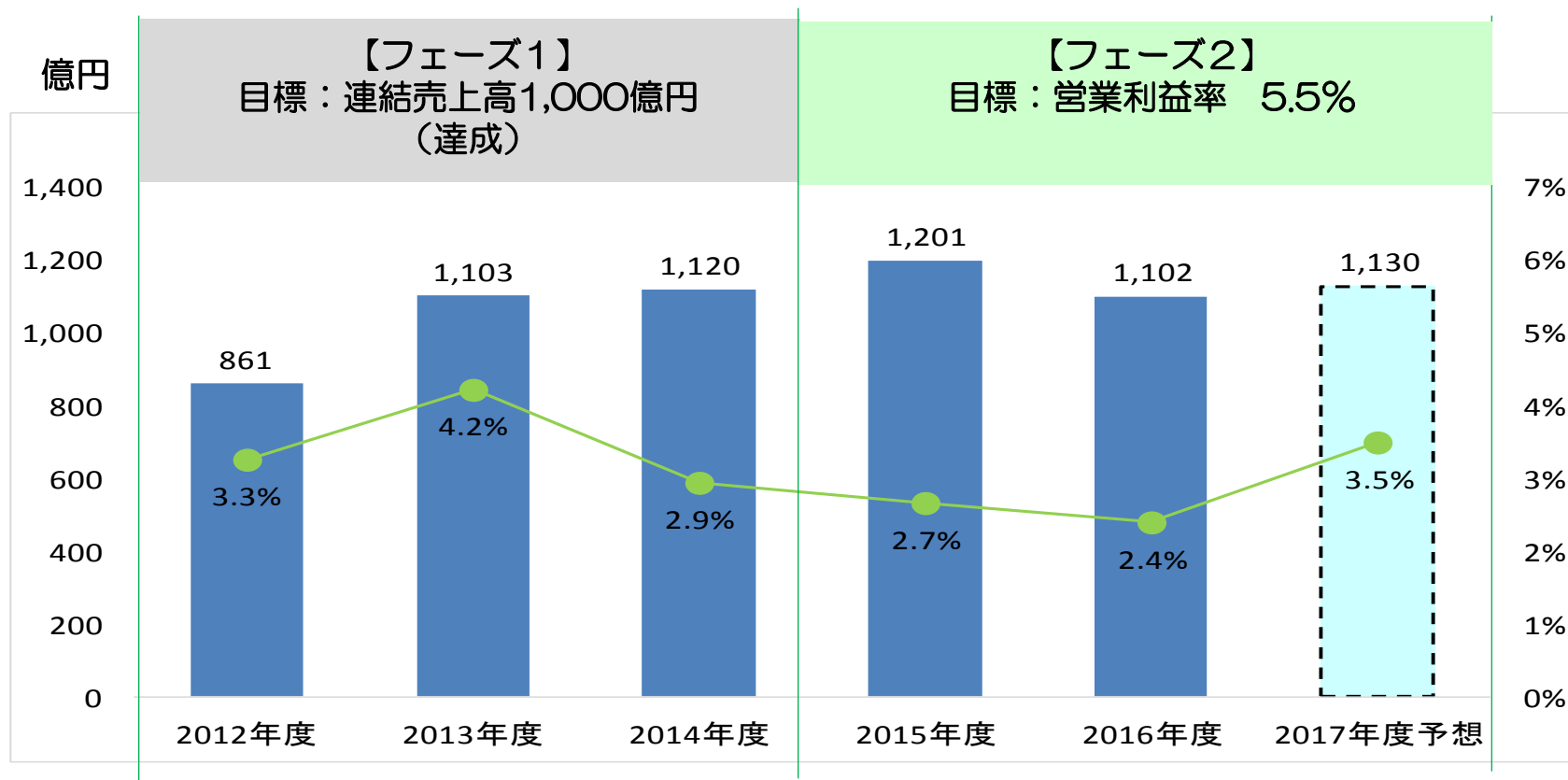
百万円	前期実績 (H29年3月期)	当期予想 (H30年3月期)	増減額		増減率
売上高	110,275	113,000	2,725		2.5%
営業利益	2,670	3,900	1,230		46.1%
経常利益	2,047	3,800	1,753		85.6%
当期純利益	1,567	2,500	933		59.5%
1株当たり純利益	76.48円	121.95円	45.47		59.5%

ご参考

USD 30/3期 110.00円 29/3期 108.78円 1.22円の円安
 CNY 30/3期 16.07円 29/3期 16.36円 0.29円の円高
 THB 30/3期 3.10円 29/3期 3.08円 0.02円の円安

Ⅲ. 今後の経営方針

経営課題の認識

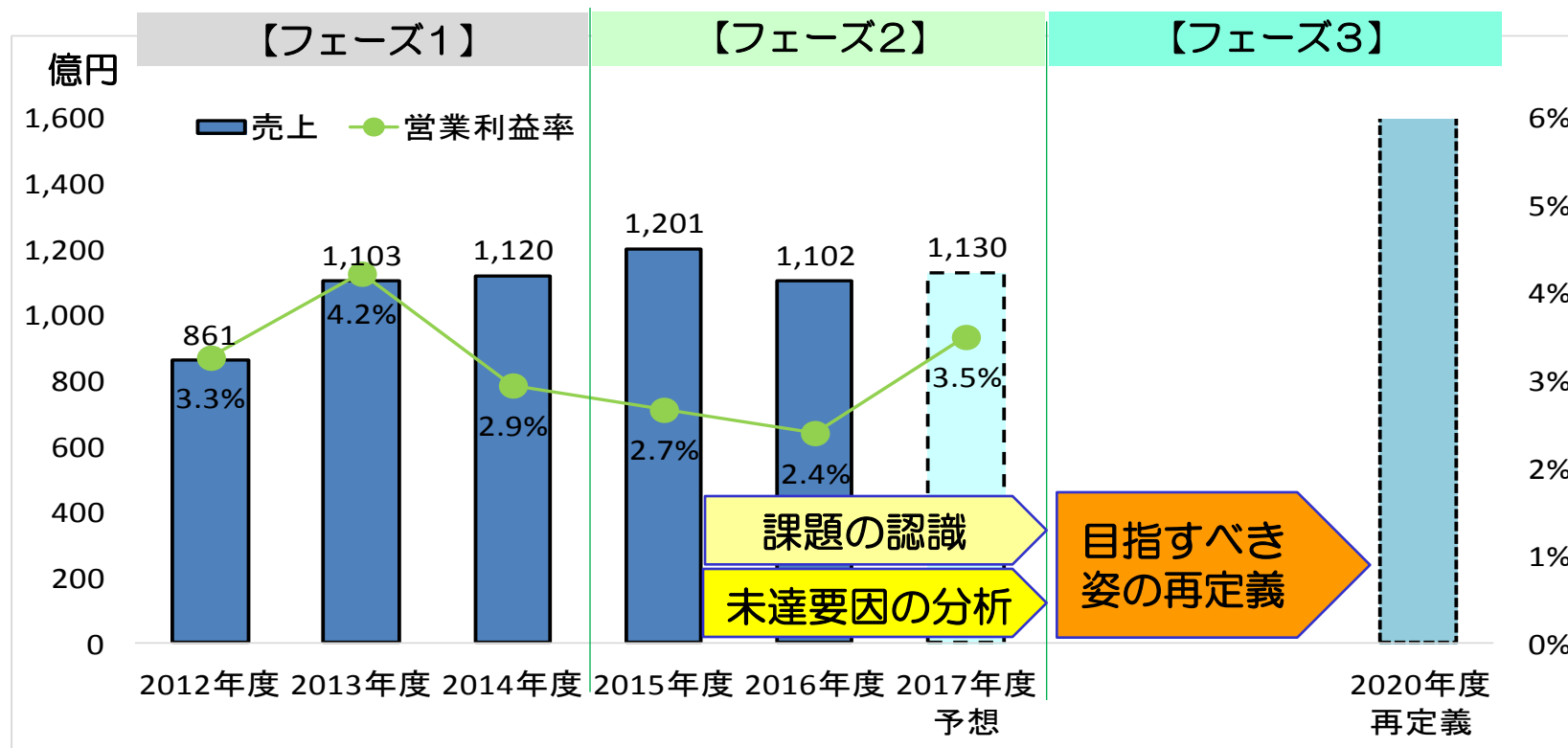


売上は横ばい、利益面は厳しい経営環境にある

フェーズ2 目標営業利益率 未達の主な要因

- グローバルでの価格競争激化
→欧米メガサプライヤーや
新興国ローカルサプライヤーとの競争
- 北米事業の収益体質が脆弱
- アジアの成長率鈍化
- 新規生産の立上げロス

Dream2020の再定義



新たな経営体制のもと、2020年度に果たすための
目指すべき姿を再定義する必要がある

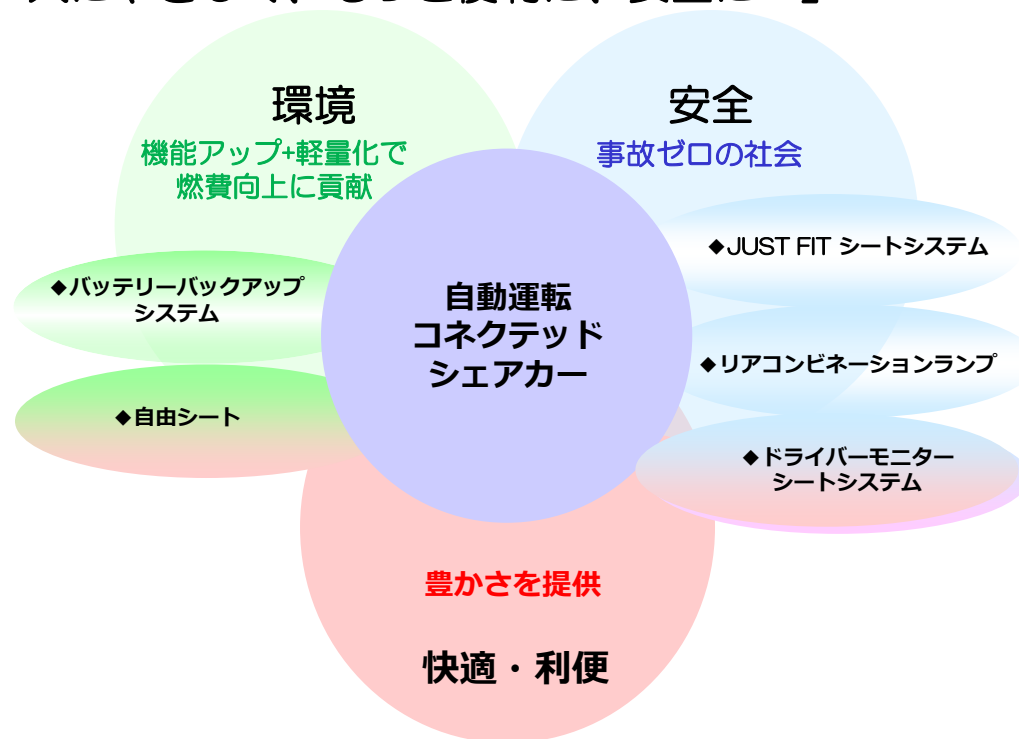
社会的動向である自動運転、コネクテッド、シェアカーを踏まえ、環境、快適、安全をキーワードとし、“よい品”を通じ“笑顔と感動”を届ける

＜開発コンセプト＞

「“Wow, so good!” 一人にやさしく、もっと便利に、安全に一」



「東京モーターショー 当社ブース」



環境、快適、安全をキーワードとした新技術により未来を創造

自由シート

【狙い】
移動中の快適を追求

【機能】
シートアジャスタのロック技術の
応用によりハンモックの快適性を
車内で提供

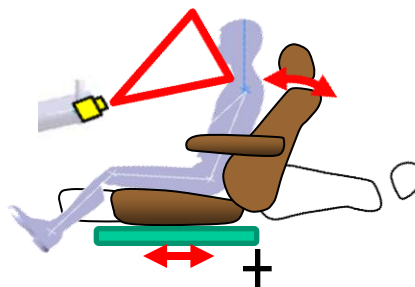


JUST FIT シートシステム

カメラで目の位置検知

【狙い】
車の「シェアカー」時代を
見据えた利便性向上

【機能】
ドライバーの体形を読み取り
最適な姿勢へ自動調整

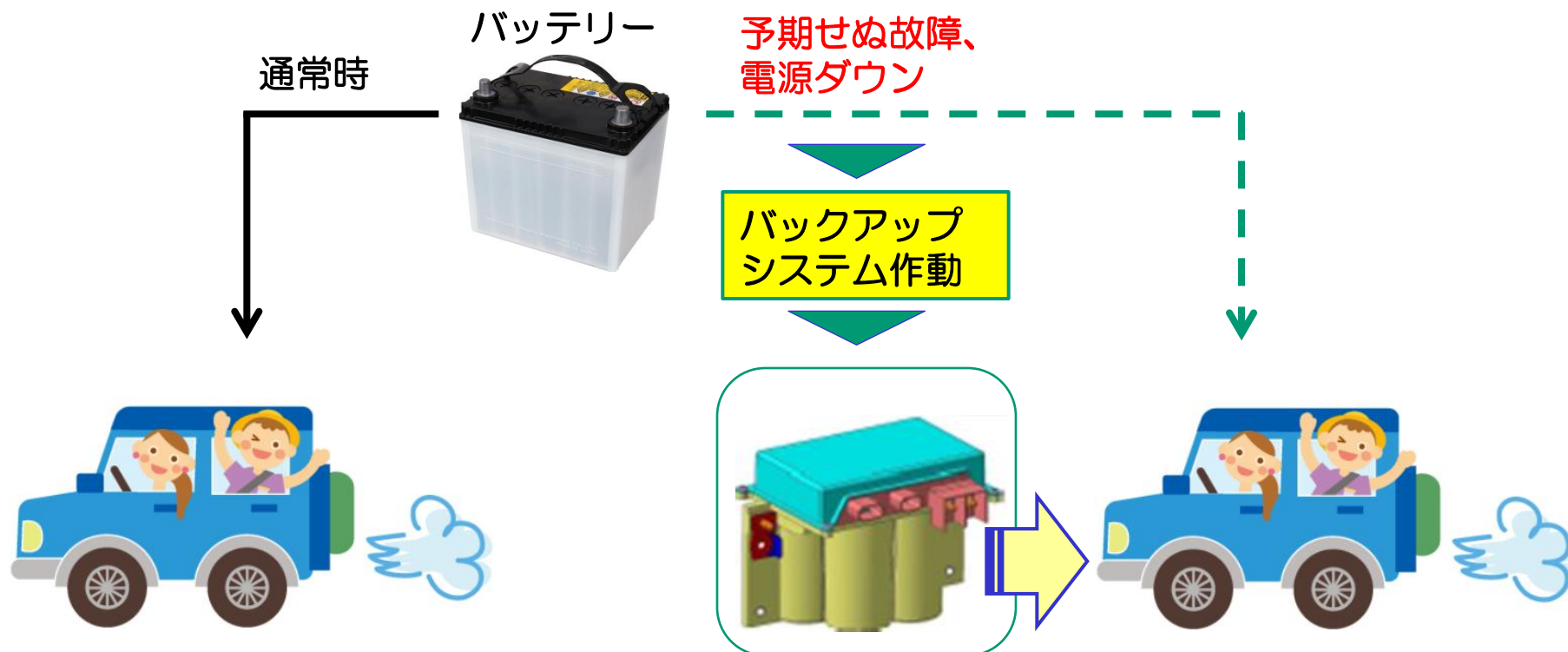


ドライバーモニター シートシステム

【狙い】
“ドライバーを見守る”
眠気、覚醒状態をセンシング

【機能】
カメラによりドライバーの動きを
センシングし、ドライバーの状態を
判断

バッテリーバックアップシステム



【狙い】

EV・自動運転車両の時代を見据え、搭載されるバッテリーの故障、電力ダウンに備える

【機能】

瞬時にバッテリーダウンを判断してキャパシタに蓄えていた電気の供給を開始する制御

2017年6月発売

福祉事業への取り組み

2014年9月発売

【ACS I V E】



【ACS I V E Easy f i t】



【医療介護】

【両脚用ACS I V E】



【レジャー】

【軽労】

【Super ACS I V E】

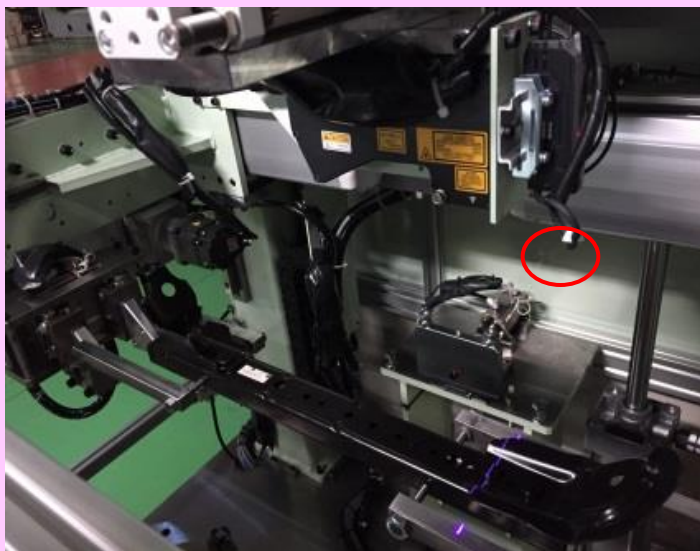


福祉事業（非自動車事業）開発を強化し、社会貢献を果たす

「造り」の技術革新

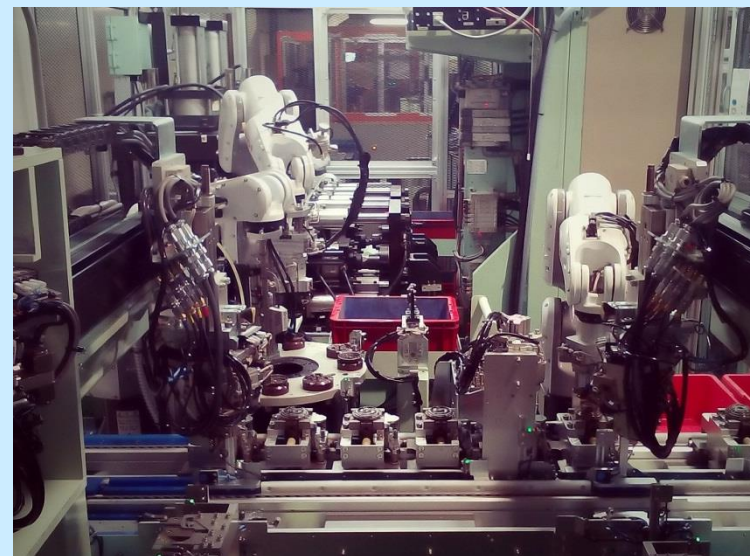
【シートレール検査機】

カメラ：目 システム：脳



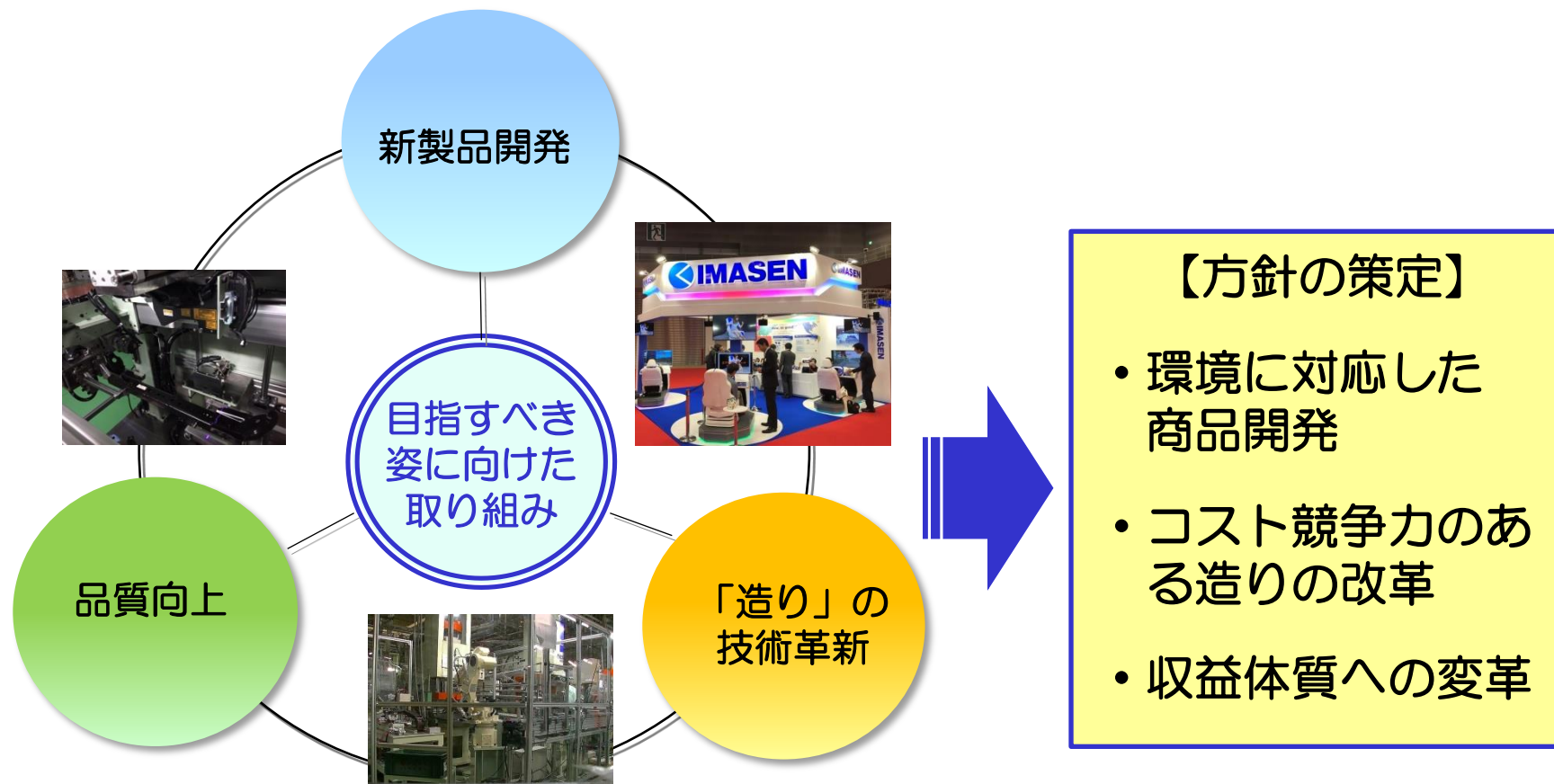
【技術革新】 新生産ライン 汎用性有・知能化

【コア製品の生産自動化】



従来の生産方式からの脱却し競争力を築く

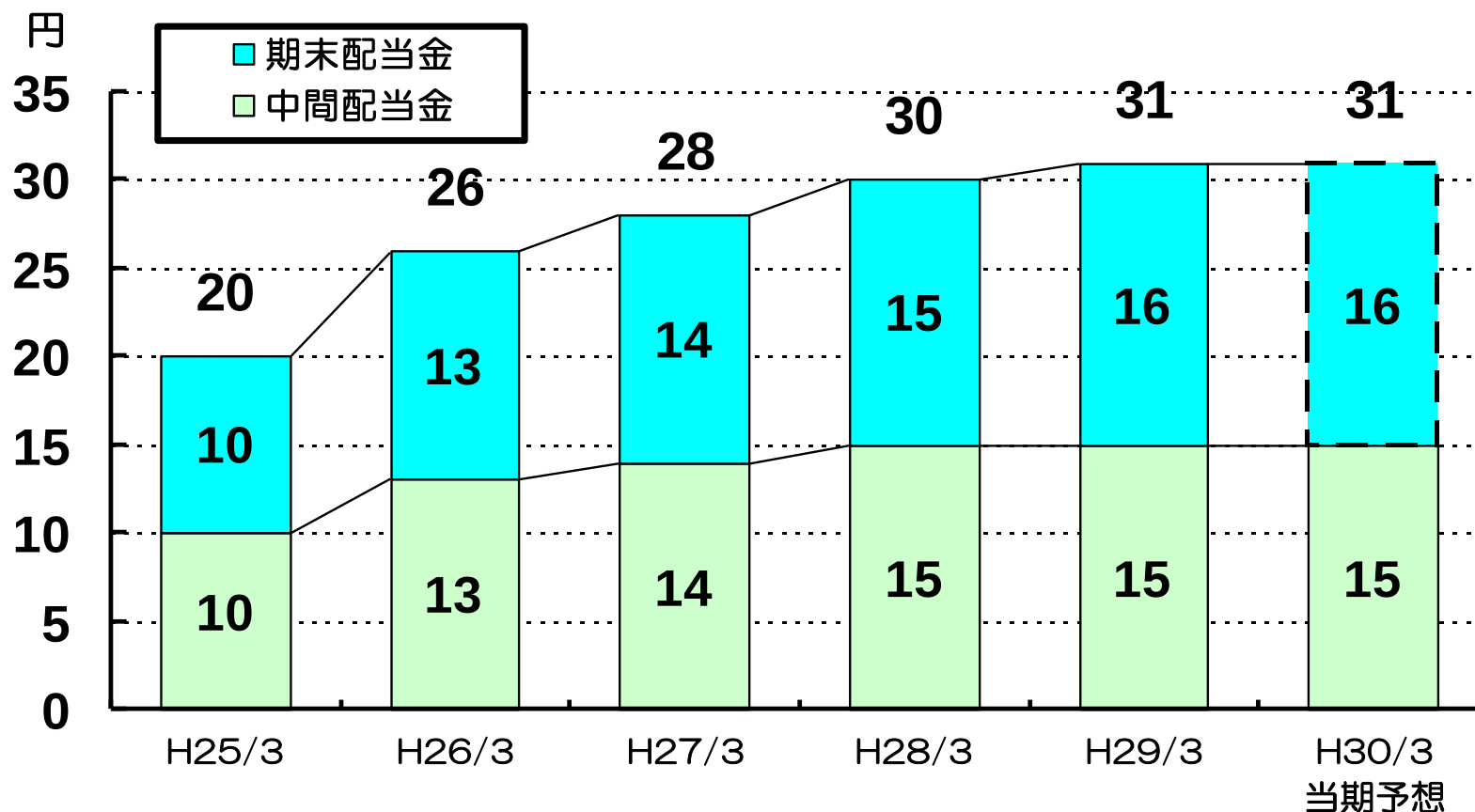
目指すべき姿に向けた取り組み



目指すべき姿をしっかりと掲げ、展開方針を策定する

POINT

前期同様 年31円を予定しております

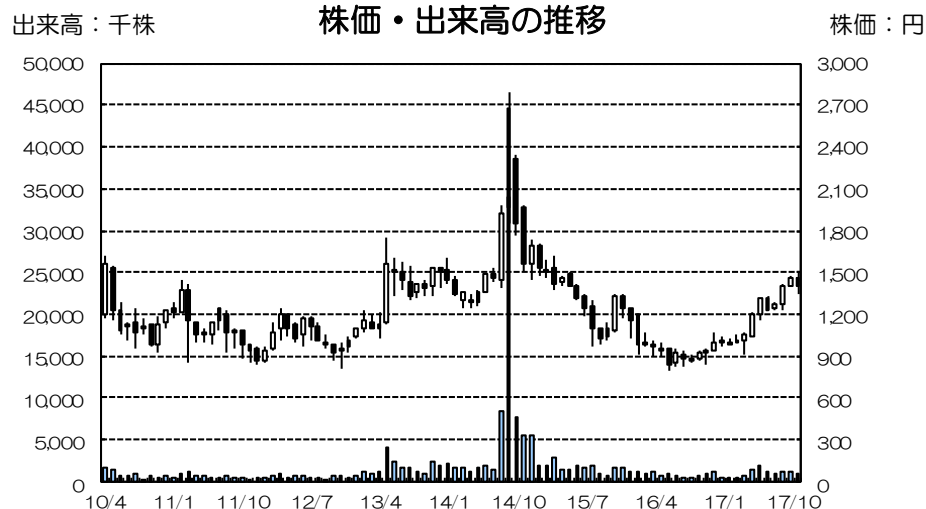


今後のスケジュール

2/8（木） 第3四半期決算発表予定

※そのほか、今仙グループの最新情報をWEBにて配信しております

<http://www.imasen.co.jp>



IRに関するお問い合わせ先

株式会社今仙電機製作所
グローバル経営事業部 経営企画課
IR担当

TEL 0568-67-1517

<http://www.imasen.co.jp/ir.html>